活力にあふれ誇りの持てる京都づくりへ

京都府知事　西脇隆俊

はじめに、令和６年能登半島地震におきまして、多くの方々がお亡くなりになられました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての方々に、心からお見舞い申し上げます。

改めまして、会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと存じます。

とお慶び申し上げますとともに、平素より温かく、力強い御支援を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

また、昨年の10月５日には丹後地域で茶話会を、11月29日には２年ぶりとなる総会を開催いただきました。それぞれ、大変多くの会員の皆さまにお集まりいただき、厚くお礼申し上げます。皆さまとお話する機会もいただき、貴重な時間を過ごすことができました。開催に御尽力いただいた役員の皆さま、そしてお集まりいただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症に変更され、世の中が少しずつ日常を取り戻しました。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都のみならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一歩であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けつつあります。

京都は、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に新しい息吹を吹き込む営みを脈々と続けてきました。それは、これからも京都が担っていくことだと思っております。社会が歴史的な転換点を迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を発揮して、多くの人、企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創ってまいります。そして、「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都府全域でおもてなししたいと考えております。

今年は辰年です。雲を払い、蒼天に向かって昇っていく龍のように、私たちに託された京都の未来に向けて、京都府総合計画に掲げた一つ一つのプロジェクトを大きく動かしてまいりますので、引き続き、会員の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和６年１月25日（通巻第19号）

ご挨拶

盛隆会 会長　田中誠二

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、平素より盛隆会の活動に対しまして、深いご理解と多大なご協力を賜っておりますことに心より厚くお礼申しあげます。

また、この度「令和６年能登半島地震」におきまして被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年11月の第３回盛隆会総会に先立つ役員会におきまして、会長に選任をいただきました田中誠二でございます。思いもよらず若林卯兵衛会長の後を受け重責を担うこととなりました。若林前会長のこれまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、副会長、顧問、監事の皆さんのご協力のもと、与えられた使命を全うしてまいる所存です。今後とも、会員の皆様のご理解、ご協力を賜りながら、西脇知事をお支えしてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年４月に西脇府政が誕生し、昨年４月には２期目を迎えられました。コロナ禍後、国内外の情勢の大きな変化など歴史的な社会の転換期を迎える中、早々に府民の声を反映し、一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府を目指して、京都府総合計画が改定されました。府政運営の羅針盤となるこの総合計画のもと、西脇知事の誠実かつ熱意ある舵取りによって、京都府の発展に向けた重要な施策の取り組みが力強く、次々と展開されています。

選挙公約に掲げられました「安心」「温もり」「ゆめ実現」の三本柱による「あたたかい京都づくり」を進めるためにも、また、「子育て環境日本一の京都」の実現に向けても会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力が引き続き必要となります。

今後とも会員拡大を含めて、西脇知事の活動を支えるとともに、会員の皆様とともに取り組んでまいりたいと存じます。

結びに、西脇知事の一層のご活躍と京都府のさらなる発展を願い、そして会員の皆様には益々のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

事務局からのお願い

盛隆会会員の拡大についてご協力をお願い

盛隆会の拡大・発展を図るとともに、府民生活の安心安全と府民経済の発展に向けた、西脇隆俊知事の尚一層の活動を支援するため、さらなる新会員のご入会の取り組みを進めております。**ご紹介、ご勧誘の程、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。**

令和６年度の会費納入について

会費は**1口3,000円以上**で、**個人名義**でお願いしております。（1口以上、何口でも歓迎しますのでよろしくお願いします。）

なお、盛隆会の会計年度は、暦年制（1月から12月まで）としております。

払込取扱票（赤伝票）をご利用いただく他に、京都銀行にも口座を設けております。ご活用いただければ幸いです。

銀行口座：京都銀行　府庁前支店　普通　4182688
口座名義：セイリュウカイ　カイケイセキニンシャ　タカイシ　ヨシフミ

事務局の勤務体制について

事務局には、火曜日木曜日の午後（13:00～17:00）に職員が駐在しております。ご連絡・お問合せ等ございましたら、この時間帯にお願いいたします。お近くにお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。

〒602-8026　京都市上京区新町通丸太町上ル春帯町349-2　仙石ビル305号
電話(075)254－8553　FAX(075)254－8554
mail：seiryukai@wind.ocn.ne.jp

第３回盛隆会総会を開催

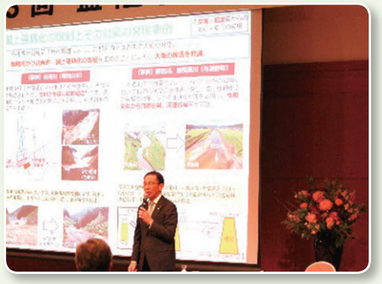
盛隆会は令和５年11月29日（水）ホテルグランヴィア京都において、第３回総会を開催しました。

総会に先立ち、役員会において盛隆会会則第６条の規定により故若林卯兵衛氏の後任として田中誠二氏を会長に選任いたしました。

当日は、188名の参加をいただき田中新会長のあいさつの後、西脇知事から「府民の皆様とともに『あたたかい京都づくり』を」と題して、昨年４月にスタートした新しい京都府総合計画に掲げる「８つのビジョン」を中心に、「あたたかい京都づくり」を進めるための取組について、熱のこもったご講演をいただきました。

田中会長開会挨拶

知事講演①


知事講演②

その後、新型コロナウイルス感染防止のためにできなかった食事等の提供も４年ぶりに実施いたしました。森下盛隆会顧問の乾杯発声により、懇親パーティが始まり、西脇知事には各テーブルを回っていただき、歓談や記念撮影を行うなど充実した内容となったところです。

沖田盛隆会副会長の中締めの後、西脇知事、田中会長によるお見送りをさせていただき盛会に終えることができました。

なお、今回の講演については後日講演録をお届けいたします。

森下顧問乾杯発声

知事歓談風景

沖田副会長中締め

令和６年１月25日（通巻第19号）

令和5年度12月補正予算（約267億円規模）

・物価高騰等の影響が続く中、府民生活や事業活動を守るための対策を実施。
・国の総合経済対策に先立ち、京都府として実施する対策と、総合経済対策の実施に必要な国の補正予算の成立を受け、京都府として実施すべき対策に必要な2つの補正予算を編成

1　国の総合経済対策に先立って実施する対策

① 原材料の高騰等で厳しい状況にある和装産業の需要を喚起　【2億5,000万円】

- 丹後の白生地を活用した着物の製造を支援
- 貸衣装、レンタル着物店等に対する 西陣織、京友禅の着物や帯の販売を支援

② 物価高騰等の影響を受ける地域公共交通を支援　【2億2,000万円】

- 公共交通を支える事業者に対し、燃料費や省エネ設備への転換等を支援

③ 人手不足に対応するために事業者が実施する生産性向上に向けた取組を支援　【3億1,000万円】

- 宿泊業では、省人化、省力化につながる機器導入等を支援
- 建設業では、技術者不足に対応するための機器導入等を支援　　など

④ 府内観光が閑散期である1月の宿泊需要等を喚起　【5億6,000万円】

- 全国の旅行者を対象とする府内旅行への割引支援等を実施

⑤ 農林水産業者の物価高騰の影響を受けにくい経営体質の確立を支援　【5億円】

- 生産コストの削減に向けた省エネ機器の導入を支援

⑥ 北部地域の看護師確保のための教育拠点として、高度医療にも対応する看護学校を整備　【37億円（債務負担）】

- 府立看護学校の学生寮および学舎を整備
- 1学年あたりの定員数を20名拡充（現在40名 → 整備後60名）　　など

2　国の補正予算の成立を受けて実施すべき対策

物価高騰への対策

① エネルギー価格高騰が続く中、消費者の負担軽減や事業者の経営効率化を支援　【5億4,000万円】

- LPガスの消費者に対して、1契約当たり1,500円を支援
- LPガス、特別高圧電力を利用する事業者が、経営効率化のために行う省エネ機器やシステム導入等を支援

② 農林水産業団体や集落営農組織の経営改善等を支援　【3億円】

- 省エネ機器の導入、品質向上や高温対策に資する土壌改良剤の導入等を支援

③ 医療機関や社会福祉施設等の光熱費や食材費の負担を軽減　【15億4,000万円】

- 光熱費の負担軽減として、医療機関等に対して、各施設の規模に応じた支援金を支給
- 食事の提供を行う医療機関等に対しては、 食材費の高騰分も支援

基盤整備の推進

① 国土強靱化に資する道路整備や治水対策の推進　【181億5,900万円】

- 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用した早期の効果発現

② 京都市中央卸売市場第一市場の施設整備に対する補助　【11億2,600万円】

- 物流機能強化のための施設整備